

日本フンボルト協会 2023 年度年次総会 議事録

日 時：2022 年 6 月 10 日（土）14 時から 14 時 40 分

形 態：ハイブリッド形式（会場：ドイツ文化会館 4 階 OAG 会議室とオンライン会議）

出席者： 会員 78 名登録

【理事長挨拶】

○ 伊藤理事長より、2 年ぶりのハイブリッド形式による総会開催についての挨拶があった。

【審議事項】

1. 2022 年度活動報告について

○ 伊藤理事長より、資料 1 に基づき以下の事項についての活動報告がなされ、原案通り承認された。

1. 2022 年度年次総会について
2. 協会運営の諸会議について
3. ドイツ研究留学説明会（オンラインで開催され 190 名の登録があった）の開催
4. 日独学術情報発信について
5. 支部活動について
6. 第 5 回日独共同研究奨学金
 - ・2 件の授与を行った。後に 1 件から辞退があり、奨学金が返還された。
7. 協会の財政安定化に向けた方策
8. Humboldt-Kolloquium について
9. 「日本フンボルト協会ニューズレター」（Nr. 10 2022 年 9 月）を刊行した。

2. 2023 年度活動方針について

○ 伊藤理事長より、資料 2 に基づき、以下の活動方針が説明され、原案通り承認された。

1. 2024 年度年次総会について
2. 留学説明会について
3. 学術情報発信について
4. 日独学術交流の促進について
5. 支部活動について
6. 協会会員について
7. 協会財政安定化について
8. 第 6 回日独共同研究奨学金制度

3. 2022 年度の決算報告・予算案

○ 高橋宗五常務理事（会計担当）より、資料 3 に基づき決算報告、また 2023 年度予算案の説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

4. 奨学金基金と財政安定化基金の会計状況について

- 資料4に基づき、縣副理事長（奨学金基金担当）より、日独共同奨学金基金について報告があり原案通り承認された。
- 資料4に基づき、高橋宗五常務理事（財政安定化基金担当）より財政安定化基金について報告があり、原案通り承認された。

5. 監査報告

- 吉川監事より資料5に基づき奨学金基金、安定化基金も含めて監査した結果、適正に執行されているとの報告があった。

6. 2023年度日独共同研究奨学金（採択結果等）について

- 伊藤理事長（奨学金実施委員長）より、資料6に基づき、2023年度日独共同研究奨学金採択結果について、本年度は、審査委員による評価の平均値が同点のプロジェクトが2件あり、合わせて3件を採択としたい旨の選考委員会による提案についての経緯の説明があり、審議の結果、原案通り3件の採択が承認され、引き続き行われた会員総会で報告された。

7. 改選による役員候補者の提案

- 資料7に基づき、伊藤理事長より役員候補者（任期2023年から2025年）提案があり、承認された。また、伊藤理事長から、顧問に就任された広渡元理事長と櫻田前理事長には、引き続き常務理事会への出席依頼がなされた。

8. その他

- 各委員から、フンボルト奨学金申請などについての質問があり、各担当者から回答された。